

第7 2回日本PTA全国研究大会川崎大会 地方協議会活動事例推薦用紙

ブロック協議会名	北海道ブロック協議会	ブロック協議会 会長名	後藤 一樹
被推薦 地方協議会名	札幌市 PTA 協議会	被推薦 地方協議会会長名	中野 吉朗

推薦した理由を教えてください（川崎大会のスローガンに照らしてみても可）
※本欄はブロック協議会会長が記入をお願いします。

札幌市 PTA 協議会は札幌市の補助金をもとに、札幌市 PTA 協議会と構成団体である 10 区 PTA 連合会が対応する事業を行っています。事業の内容は「家庭や子育てに関する研修会、講演会事業」や「大人と子どもと一緒に体験し交流する事業」で毎年工夫された様々な事業が展開されています。地方協議会が地方自治体と連携し継続した PTA 活動の取り組みとして推薦します。

活動事例の名称 **社会教育普及のための札幌市「PTA 補助事業」**
※正式名称はありません

1. 活動の内容を紹介してください

【家庭や子育てに関する研修会、講演会事業例】

○中学生作品展、○教育講演会 ○交通安全標語コンクール ○職業体験会

【大人と子どもと一緒に体験し交流する事業例】

○親子ふれあいホリデー、○親子で見つけた私の手稲、○親子ふれあいコンサート等

2. 何故その活動に取り組んだのか背景（課題等）や目的を教えてください

札幌市には 10 の区 P 連があり、取り組みは毎年同じように継続され地域の活動として定着されているものもあれば、毎年違った取り組みを工夫しているところもあります。活動の背景は様々ですが、年度末に各区の交流会が設定されていて、互いの取り組みの見直しに役立っています。

3. 活動に協力してくれた「PTA以外」の団体や企業とのつながり（ご縁）について教えてください

各区 PTA 連合会組織が中心となりますが、区 P 連は単位 PTA が関わって運営しています。運営面で単位 PTA を巻き込んだ取り組みになることもありますし、地域町内会や先生たちの研究組織が関わった活動になることもあります。

4. 活動を通して貴協議会の役員や理事にどのような変化がありましたか。また、貴協議会に所属する学校PTAの会員にどのような変化がありましたか。

この取り組みの活動対象は単位 PTA の会員なので、区 P 連の活動や市 P 協の活動の理解を深める働きがあります。一方で単位 PTA にも一定の負担をお願いするので負担感を感じている PTA も存在します。しかし、札幌市は小中幼全部で 301 校全て PTA 組織を維持し、各区 P 連および札幌市 PTA 協議会を組織している現状を考えるとこのような取り組みの働きの意味も感じているところでもあります。